Takashima Toujyu Kai

2021.1.15

行 発 NPO法人 高島藤樹会

〒520-1224 滋賀県高島市安曇川町上小川 225-1 藤樹書院・良知館内 電話·FAX 0740(32)4156

(題字は、竹脇曇卿先生によるものです)



たことで しょう。 て辛かっ い聞かせています。おり、仕方がないかと自分自身に言 の男性も、 長引くコロナ禍で、手洗いや消毒を 軟膏を塗っている姿を目にします。 ていたら、 一日に何度も励行する日々が続いて し、何とも厄介です。私だけかと思っ ては直ぐに取れてしまいそうになる はずの傷テープが、 います。作業をしていると、 るにも痛くて、つい言葉に出てしま あ痛っ!」めずらしく両手にで その痛さに悲鳴を上げ、 職場では若い女性や中堅 初めて経験するあかぎれ 、あかぎれ、。何をす 貼る場所によっ 何度も 充てた

ように効き目のある軟膏も傷テープ て血がにじんでいたそうです。 で紫色に腫れ、ところどころが割れ 樹先生のお母さんの手は、 四百年以上もの昔、 ゴム手袋もない時代、 冬になると藤 あかぎれ の家事作 業はどん なに痛く 厳冬期 今の た。 この時でした。

新型コロナウイルス感染拡大から、 た私たちの当たり前の日常生活を根 年が過ぎようとしています。 hコロナの生活は、 これまであっ 昨年度末から突然始まった W i

粘りが切れない地域連携に取り組み

本も生み出せるよう常に見つめ直し

本を太くて強い糸にし、

ればなりません。

粘りのある糸を何

あかぎれに藤樹先生を偲ぶ Withコロナの今~ お母さんのあかぎれ

5

高島藤樹会 副会長

梅村

が人間らしく楽しく生きるために間は誰でもよい心を持っている。人 の本。親子の関係だけではなく、生孝。孝は愛し敬うことでもあり全て は、 にもとても理解しやすいもので、「人 瀬童心先生のご講演は、初心者の私 に思い切って参加してみました。廣 の中江藤樹・心のセミナー(講演会) かけです。 えを学んでみようかなと思ったのは 忘れられません。私が藤樹先生の教 なければいけないと強調された姿が 間同士はこの糸のように繋がって 実演まであって、 出され、箸を使って糸引きと粘りの の場面では、パック入り納豆を持ち く残っています。特に、「五事を正す_ 全孝がある。」などは、今も心に深 きとし生けるもの全てに森羅万象に から声をかけていただいたのがきっ 定年退職を迎える前のことで、 おられた藤樹先生が偲ばれます 大切だ。」「藤樹先生の教えの根幹は 視・聴・思)を正していくことが 個人がバラバラではダメだ、人 日々の生活の中で五事 そのご縁で、 私が本会を知ったのは 会場は大爆笑でし 令和元年度 (貌・言

ます。

そして、

すでに気づきを行動

とを気づかせてくれたようにも思い

たり前の崩壊は、

私たちに多くのこ

で示し新しい発信をされている方々

当たり前の日常が戻るよう努めなけ や弱い立場にある方々に一日も早く 制を整え、何よりも先ず、 の協力の下、法整備と強固な医療体 です。大人が知恵を出し合って互い く新型コロナと闘わねばならない時 も、全ての多様性尊重」で、 ある人もない人も、 もない人も、 く強い連帯感」で、「持病のある人 除することなく、 ではないでしょうか。「だれ一人排 もおられます。 今こそ藤樹先生の教えを活かす 老いも若きも、 取りこぼすことな 外国人も日本人 子供たち 粘り強 障害の



近江聖人中江藤樹記念館

収束の

り状態が続 場面で手探 だに多くの

ずに人々は 兆しも見え

ています。 疲弊しきっ

方で、

ひじりの声上田藤市郎

の自覚こそ、「致良知」「知行合一」 ち重み、その証拠となる自らの行動 んぞ無視して、本来言葉がもつ値打 これに加担している。年末の漢字な 諫めることができない党や仲間が、 になってしまった。この裸の王様を の常套句「誠実に」「真摯に受け止め」 欲に負けてしまうのである。政治家 気がないので「良知」とは真逆の私 覚しているのだが、意思力が弱く勇 ていないと言えば済むことだとして あれ、何であれ、言い直したり言っ ためには、言葉は道具であり、嘘で まったのである。私利私欲や保身の 政治屋が言葉の力を衰えさせてし 守ってたがえない」の意味がある。 という字は、「自分のことばを固く を失い人々に不信を抱かせる。「誠 めに言葉が使われると、言葉は重み て初めて真価をもつ。悪事を覆うた というものは、 てリーダーとしての責任はとらな 重ね、部下に忖度させて、資料の改 嘘をつく、嘘が露見すると言い訳を 今の日米 た警世の言を発することとする。昨 しまった。嘘をつく本人が、強く自 つかない悪影響をもたらした。言葉 い。これは、社会全体に取り返しの 原点である。今年は言語に誠実性 年頭に当たり藤樹先生の眼から見 聴くたびにしらけ切ったことば 「政治屋」の醜い言動は、 行動の裏付けがあっ 最後は部下の罪にし

高島藤樹会の活動

藤樹思想を学び考え実践する藤樹人間学塾:

大学、 大学、近江八幡か は京都、大津、近江八幡か は京都、大津、近江八幡か は京都、大津、近江八幡か らを含め十名でした。 参加者

は天の道なり。之を誠にす は天の道なり。之を誠にす まて、今回は『中庸解』 をいう話を紹介しました。 という話を紹介しました。 という話を紹介しました。

し続けなければならない」。そして、大意について、中庸解を図示した。「誠は天の道である。すなわち天の命が私たちの身体る。すなわち天の命が私たちの身体る。すなわち天の命が私たちの身体ることができるが、賢人等は欲などの心の汚れがあるので、それをそのまま得いのできるが、賢人等は欲などの心の汚れがあるので、それを取りることができるが、賢人等は欲などの道であることができるが、賢人等は対している。

基にしました。の人であったかという話を、資料を吉田松陰や鈴木大拙が如何に「誠」

を加者からは「幸せの因子というの意見を頂きました。 参加者からは「幸せの因子というの意見を頂きました。

これを問い、慎んでこれを想い、明です。「博くこれを学び、詳らかに今回も『中庸解』第二十章の続き藤樹人間学塾を開きました。



こまでも努力する」。

こまでも努力する」。

こまでも努力する」。

こまでも努力する」。

こまでも努力する」。

こまでも努力する」。

こまでも努力する」。

こまでも努力する」。

『中庸解』の中に「性即理」の論『中庸解』の中に「性即理」の論して進化してきた」。

頂きました。

ですね)」等のご意見を使われている・・・(それだけ人のをわれている・・・(それだけ人のをま方の言葉は歌謡曲にたくさんる生き方の言葉は歌謡曲にたいを馳せ

人でした。 人間学塾を開きました。参加者は八十一月三日(土)、第百十回藤樹

深く信じて真の志を立て、他人の百た。「心の本体をしっかり理解して、大意について次の様に説明しましば、己はこれを百たびし・・・」。節です。「人一たびこれをよくすれののは『中庸解』第二十章の最終

な人であっても必ず強くなる」。 をはっきり知ることができる。柔弱 え愚な者であっても必ず聡明に物事 倍も努力をして、人欲等の惑いを除 本元の良知に至るときは、

倍の努力をして、最終的には皆に慕 われる医者になりました。 に懸命の指導をされ、了佐も人の百 生はその心意気に打たれ了佐のため う高い志を持っていました。藤樹先 な医者になって人々を救いたいとい しました。了佐は愚鈍でしたが立派 ここで藤樹先生と大野了佐の話を

氏を愛で満たしてくれたのです。 ました。そのことが、結果として、 誰かのために出来ることを考え続け は愛すること」と語り、自分以外の ました。日野原医師は「人生の目的 師に教えられた愛の精神」を紹介し 和雄氏の「人生百歳時代 そして「致知」に掲載された村上 日野原医

の意見が出ました。 ているのには感銘を受けた」、など のために使うのが使命だ、と言われ のち)は時間である。その時間を人 参加者からは「日野原医師が命(い

者は九人でした。 回藤樹人間学塾を開きました。参加 十二月五日(土)午後、第百十一

を性という・・・」です。 一誠なるよりして明らかなる、これ 今回は『中庸解』第二十一章です。

ほんの僅かの汚染のないものは性と た。「大宇宙とつながるように心に 大意について次の様に説明しまし

> はない」。 賢人の学です。元々誠であっても学 の汚染をなくして誠に至る。これは です。教えによって学問修養して心 いい元々誠である。これは聖人の徳 んで誠になっても同じであり、区別

か? では聖人でない私たちはどうする

るのを紹介しました。 けること(道元)が大切とされてい 木大拙)、③意識を高めること(松 岡正篤)、②仕事に打ち込むこと(鈴 特集で、①古今の師に学ぶこと(安 下幸之助)、④へこたれずに磨き続 ここで、「致知」の「人間を磨く」 また村上和雄氏が、遺伝子が利己

すれば誰でも天才!といわれている 的だけでなく利他的に振舞っている ことや、眠っている遺伝子をオンに ことを紹介しました。

くつもあった」などの意見が出まし 確になった」、「資料中に気付きがい 是空、空即是色』の意味が分かった」、 「予習したが、あやふやな理解が明 参加者からは「般若心経の『色即

ください。心からお待ちしています。 本塾に関心のある方は是非お越し

藤樹人間学塾 今後の予定

五月九日(日)、 二月六日(土)、四月三日(土) 六月五日 (土)

場所 日時 (原則) (原則) 安曇川公民館 十五時~十七時

賛 助

一覧

★新規賛助会員のご紹介

ます。ご加入ありがとうございます。 加入いただきました賛助会員をご紹介し 令和二年十二月末日までに、本会にご

○税理士法人淡海総合会計 (高島市今津町今津)

○大溝工業 株式会社 (高島市勝野)

○岡本アルミ建材 株式会社

(高島市安曇川町中央)

○川島織布 株式会社

○佐治タイル 株式会社 (高島市新旭町旭)

)株式会社 シグマックス

(高島市安曇川町青柳)

○新旭電子工業 株式会社

(高島市新旭町藁園

①杉橋建設 株式会社 (高島市今津町今津)

○高島鉱建 株式会社 (高島市今津町下弘部)

○有限会社 天平フーズ (高島市新旭町太田)

○ナカショウ 株式会社 (高島市安曇川町五番領)

○株式会社 中田運送 (高島市新旭町北畑)

○株式会社 ホリゾン

(高島市新旭町旭)

○株式会社 ヨシダヤ (高島市今津町今津)

★既加入の賛助会員一覧

ご協力ありがとうございます。

○ウェストレイクホテル可以登楼

○株式会社 大山建設

○大津公証人会 白髭博文

○川島酒造 株式会社

○株式会社 Grow | S

○株式会社 桑原組

○有限会社 宏和商事

○税理士法人 小畑会計事務所

○株式会社 澤村

○有限会社 白浜荘

○ソエダ 株式会社

○田中マネジメント事務所

○株式会社 TADコーポレーション

○鉄屋商事 株式会社

○寺子屋まなざし童心塾

○株式会社 戸井薬局

○とも栄 藤樹街道本店

○中村印刷 株式会社

○株式会社 中村測量設計

〇ニッケイ工業 株式会社

○有限会社 馬場塗装

○保木機料 株式会社

○有限会社 綿庄食品店

(五十音順

特集

中学生が 藤樹先生を学ぶ

湖西中「ふるさとウォーク」から

広報委員 三田村 治夫

的な学習として行われ、事前・事後 動力を養う』をねらいに、「ふるさ 樹先生に関わる所などを歩いて訪 して注目されます。 れているもので、新たな取り組みと 題の学習に藤樹先生の教えを生かさ とSDGs」の授業は、現代的な課 に実施された道徳「中江藤樹の『孝』 時間の学習でした。中でも、最終時 も加えて、教科等を横断した全十七 続可能な開発目標)と中江藤樹」等 の学習も含め、道徳「SDGs(持 とウォーク」にのぞみました。総合 いながら、約十二㎞を踏破できる行 を深めるとともに、仲間と励まし合 十一月十二日に、『市内の史跡や藤 郷土の歴史や偉人について理解 西中学校では一年生が、去る

ありました。 じめ地域の方々による協力・支援が 援する「むくげの花の会」会員をは 迎えなど、多くの保護者や当校を支 中グランド)での焼き芋等による出 見学地での講話、ゴール地点(湖西 (一緒に歩く)、交差点での立哨、 さらに、ウォーク当日には、同行

き、以下に紹介します。 湖西中学校から資料をご提供いただ この魅力ある一連の学習について、



鴨稲荷山古墳に向けて歩く

❶指導計画の概要 (事前学習)

②「高島の歴史の理解を深めよう」 ①「高島の歴史を学ぼう」(総合) (情報収集活動:総合)

「『SDGs』って何?」(道徳)

④~⑥「ワールドカフェ」(調べ たことをプレゼンで交流:総合ご

藤樹先生の教え

⑦「中江藤樹について知ろう」(道

体験学習】

8~個「ふるさとウォーク」(総合)

事後学習】

⑤~⑥「新聞を作ろう」(総合)

⑪「中江藤樹の『孝』とSDGs」

②「ふるさとウォーク」当日の概要

実施日 十一月十二日 (木)

大溝城から、

四十八体仏(見学) ■

藤樹記念館 鴨稲荷山古墳(講義3・見学) 湖西中到着 藤樹書院 藤樹神社

近藤重蔵蟄居地跡(見学)↓ 大溝城跡 乙女が池

(昼食)

1

(講義4・見学)

(講義5・見学)

■

藤樹先生に関する部分を抜粋し、ご ❸「新聞」(まとめ)の紹介 紹介します。) (「新聞」 五作品のそれぞれから、

「ふるさと新聞」

古田 琉美菜

年

樹先生の教えを紹介します。 集まってくる人々と共に、人として 藤樹先生は、郷土の人や藤樹書院に 近江聖人とたたえられた。今から藤 **大切な道を学び、その道を実行し、** 近江国(滋賀県)で生まれた中江

①致良知(ちりょうち)

望が起きてしまうことがある。だか しい心を持って生まれている。しか し、生きているうちにいろいろな欲 人は、だれでも「良知」という美

> ら、自分の欲望に打ちかって、 に従い行いを正しくするよう日々努 力することが大切。 良知

白鬚神社(講義1・見学)➡徒歩

(市のバス) ➡白鬚神社

②孝行(こうこう)

(講義2・見学)
■

(散策・見学) ■

族などの人々と親しみ合うことが大 祖は、大自然から授かった。孝行と らうけつがれたものである。その先 もので、その親の心や体は、先祖か そのためには自分の良知をみがき、 体を健康にし、行いを正しくし、 大自然を敬うことである。 私たちの心や体は、親からうけた 父母を大切にし、先祖を尊び、

③知行合一 (ちこうごういつ)

らない。だから、学んだことは実行 なければ、本当に知ったことにはな ことができる。しかし、それを行わ て行われなければならない道を知る しないといけない。 人々は、学ぶことによって人とし

五事とは、「貌、言、視、聴 ④**五事を正す**(ごじをただす)

かな顔つきをし、 を言い、それを正すことは、 を思うこと。 聞き、まごころをこめて相手のこと を見つめ、耳をかたむけて人の話を 葉で話しかけ、澄んだ目でものごと 思いやりのある言 なごや

は人々の心に残った。 た。でも、その後も藤樹先生の教え 藤樹先生は、四十一歳で亡くなっ

「ふるさとウォーク新聞」 年 原田

~藤樹先生の人生~ 藤樹記念館

地元に帰りみんなに学問を教えまし 行きました。そして二十七歳の時、 をはなれ鳥取の米子に学問を学びに 藤樹先生は、 九歳の時、 親のもと

いた人達も、やさしく、 に育ちました。 、た人達も、やさしく、心の広い人そして、藤樹先生の教えを聞いて



記念館で、武田基裕先生の講義を受ける

藤樹書院 ・藤樹先生の教え~

正す」などの言葉を残しています。 ち)、「孝行」、 藤樹先生は、「致良知」(ちりょう 「知行合一」、「五事を

> しい心をいつもみがき続けることが 致良知・・・ だれでももっている美 大切だということです。

け合うことです。 **孝行・・・** 周りの人を大切にし、 助

じにするということです。 **知行合一・・・**学んだ事と行動は同

を大切にするということです。 五事を正す・・・顔つき、 い、まなざし、よく聞く、思いやり そして、藤樹先生は「孝」や、「続く」 言葉づか

くという意味だそうです。 周りの人の命があってこれからも続 だそうです。「続く」は、自分の命、 地球の資源にも感謝するという意味 いました。「孝」は、親だけでなく という言葉を大切にしていらっしゃ

感 想

とができました。 知らなかったことをたくさん学ぶこ 私は、ふるさとウォークに行って、

できて良かったです。 自分のふるさとについて知ることが を知ることができました。他にも、 残っています。「孝行」や「五事を 正す」など、自分のためになる言葉 特に、藤樹先生の教えが一番心に

「ふるさと新聞_

年 髙木 笑梨子

中江藤樹先生の教え

近江の国 (滋賀県)で生まれた中

> れました。 して大切な道を学び、その道を実行 江藤樹先生は、郷土の人や藤樹書院 に集まってくる人々と共に、人間と 先生は次のようなことを教えてく 近江聖人とたたえられました。

致良知

す。 み合い、 美しい心は、だれとでも仲良く親し い心を持って生まれています。この 人はだれでも「良知」という美し 尊敬し合い、認め合う心で

をくもらせてしまいます。 いろいろな欲望が起きて、 ところが人々は、次第にみにくい つい良知

るよう日々努力することが大切で き、その良知に従い行いを正しくす 打ちかって、良知を鏡のようにみが 私たちは、自分のみにくい欲望に

五事を正す

を言う。 五事とは 「貌・言・視・聴・ 思

しょう。 しく和やかな顔つきで人と接しま **貌**(顔つき)愛敬の心をこめてやさ

しょう。 かく人を見、 **視**(まなざし)愛敬の心をこめて温 しょう。 物を見るようにしま

受け入れられるような話し方をしま

言(言葉づかい)相手に気持ちよく

う。 **聴**(よく聞く)話す人の気持ちに立っ 相手の話を聞くようにしましょ

> 手を理解し、思いやりの心をかけま 思(思いやり)愛敬の心を持って相 しょう。

があります。 他にも、「孝行」 B 「知行合



藤樹書院で上田藤市郎先生の講義を受ける

年 大久保 美奈

「ふるさと新聞」

中江藤樹

ました。二十七歳で、一人になった 族思いな方です。近江の村で生まれ、 ことを教えられたりした、とても家 帰り、村人や人々に「人としてつね 母のことを思い、周りに何も言わず 九歳で親のもとを離れ勉学にはげみ めに努力したり、人として行うべき 中江藤樹先生とは、村の人々のた

から心がけていきたいです。 ての行いがよく分かったので、 切にされました。人は美しい心を持 おられ、特に「孝」という言葉を大 藤樹先生は沢山の良い言葉を残して に行うべき道」をお話しされました。 家族を大切にすること、人とし

~ 五事を正す ~

言・・・・ 言葉づかい 貌・・・・ 顔つき

聴・・・・よく聞く

視・・・・まなざし

思・・・・思いやり

家族を大切にする 孝 行〜

想

毎日過ごしていきたいです。 たし、藤樹先生の言葉も大切にして、 じゃ分からなかった所もよく分かっ 学べてよかったです。調べるだけ 思ったし、いろいろ自分の目で見て 高島市にも遺跡などがあるんだなと 私は、ふるさとウォークを通して、

「ふるさと新聞」

年 上條 優花

藤樹先生

た。先生が大切にしている字は、「孝」 歳に小川へ帰ってきました。先生 米子へ、十歳に大洲へ行き、二十七 藤樹先生(よえもん)は、 かしこくて、約束を守る人でし 九歳に

> あります。先生は村の人々に心の勉 を正す、など大切な言葉もたくさん も、致良知、孝行、知行合一、五事 るため、大切にしていました。他に といって、人や物、環境を大切にす 強を教えていました。

感 想

ひきついでいきたいです。 ができました。中でも、藤樹先生が たり、自然とふれあったりすること にしたいと思いました。この教えを、 大切にしている「孝」を、私も大切 ふるさとの歴史を学びながら、話し て、仲が深まった友達ができました。 わたしは、ふるさとウォークをし

「高島市の昔」

年 田中

中江藤樹先生

あだ名が「与右衛門」でした。そし藤樹さんの本当の名前は、「原」で、 いいます。 院に藤の樹があったから藤樹先生と て、「藤樹」という名前は、 藤樹書

勉強を教えるというよりも、 たものです。藤樹先生は、ここでは から、荷物だけは残そうとして、守っ 回火事になって、百四十年ぐらい前 にも一回建て直しました。この中の 「藤樹書院」です。この建物は、 この下の写真は、藤樹先生がいた みんな藤樹先生が好きだった 心のこ



います。 終わると出ていきます。この「しん そのままおぼんが終わるまでいて、 あいているからその中に入ります。 帰ってきて「はいしゅ」の横に穴が があって、 院の中には「しんしゅ」というもの とを生徒たちに教えていました。 しゅ」がないとどこかに行ってしま おぼんになるとれいが

★ 中学生一人ひとり表現は異なり

う」と教えました。 した。藤樹先生は「人を大事にしよ い、このことを「孝」と呼んでいま 生き物も全部続くことが大事とい た。 に受け止めていることに感動しまし ますが、みんな謙虚に、要点を的確

感 想

がちがったのでおもしろかったで 思っていたよりも長かったけれど、 いつも車で通っている道だから景色 白鬚神社から湖西中まで歩いて

ぞれ高島の昔のことだから、この機神社、お城、古墳、藤樹先生それ いです。 れからもいかしていけるようにした 会に学べて本当によかったです。



地域の人が、 焼き芋等で迎えてくださった

4参考資料(次項)

◎事後学習指導案

「中江藤樹の『孝』とSDGs」

〈以下、中学『第1学年 「特別の教科 道徳」 学習指導案』より、部分抜粋をしています。〉

資料 領域横断的カリキュラム(単元構成)

- (1) 〔総合〕 ふるさとウォークにおける藤樹書院(上田藤市郎先生)および藤樹記念館(武田基裕先生) での講義と質疑応答
- (2)〔道徳 I〕「SDGs」について (※SDGs:持続可能な開発目標)
- (3)〔道徳Ⅱ〕「中江藤樹」について
- (4)〔道徳Ⅲ〕「中江藤樹の『孝』とSDGs」について 【本時】

第1学年 「特別の教科 道徳」 学習指導案 =No.3 =

単元名 中江藤樹の「孝」とSDGs」について

本時のねらい 中江藤樹の「孝」の教えとSDGsの考え方をつなげることで、昔からの教えが今を生きる中での課題と関連していることに気づき、これからの社会を担う者として、その課題を

解決するために自らの生活の中でできることを考える。

本時の展開

	学習内容	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
	① 中江藤樹の「孝」と SDGsを振り返る	発問1:中江藤樹の「孝」とはどのような教えか。また、SDGsの17のゴールにはどのようなものがあるか。	
净	② 中江藤樹の「孝」と SDGsにはどのような つながりがあるのかを考え る。	発問2:中江藤樹の「孝」とSDG sの17のゴールにはどのような関 連があるだろうか。 ・よりよい暮らしをするために必要 な考えである。 ・どの人にも当てはまる課題である。	・同心円を用意し、 「孝」 \rightarrow SDGs \rightarrow 自分たちに できることの順番で考えさせ る。
展開	③ ②で考えたことから、S DGsの17のゴールを達 成するために、自分たち にできることを班で考え る。	 ◎発問3:SDGsの17のゴールから3~4項目を選んで自分にできることを考えて、行動宣言をしよう。 ・誰にでもやさしくすることで平和で公正な社会を築く。【(16)平和と公正をすべての人に】 ・人のためを思って行動する。【(10)人や国の不平等をなくそう】 ・エコバッグを持ち歩く。【(14)海の豊かさを守る】 	・各班にタブレットを用意して、ロイロノート(※)に班での考えをまとめさせる。・ロイロノートに同心円を映して、各班の考えをスクリーンに映し出す。
まとめ	⑤ 本時のまとめをする。・個人で振り返りシートに記入する。・学而事人とのつながりを知る。	・中江藤樹の「孝」とSDGsのつ ながりから気づいたことや考えた こと、行動宣言の実現に向けての 思いを記入しよう。	・学而事人については生徒の意 見を引き出したいが、出な かった場合は教師から話をす る。

●<参考>班でのまとめかたと発表方法

- ・1年1組・・・・ワークシートに記入→プロジェクターで画像を映す
- ・1年2組・・・・ロイロノートを使用
- 1年3組・・・・ワークシートに記入→書画カメラで映す
- (※)ロイロノートとは、学習支援アプリ。課題を共有したり、そこで軽い動画編集ができる。

藤樹書院 良知館 通 信⑪

「脩身の重要さ」

洋

翼伝は用語の註記を意味します。 があります。啓蒙は思想上の解説 経啓蒙」「論語郷党啓蒙翼伝」など 和文で書かれ、漢文体のものでは「孝 学解」「中庸解」「中庸続解」などは 註解を著されました。「論語解」「大 勉学に資するために、 藤樹先生は門弟である同志諸生の 多くの経書の

簡があるからです。 で、そのような事情を推察出来る書 同志の要請によって書かれたもの 和文で書かれたものは晩年の作 「翁問答」と同じように大洲の

も同じです。 りありますが、 ています。先生の無念は察するに余 によって全篇の解に至らずに終わっ しかしながら残念なことに「大学」 「中庸続解」は病苦と早すぎる死 後学の我々にとって

す。「愛敬」は先生にとっては「仁」 や「明徳」、「良知」などと同じもので、 に純一至善愛敬の心を持っていま の重要さです。人間は生まれながら いておられるのが「脩身」すること 先生が、これらの中で一貫して説

かった。

復る「脩身」の重要さを説き続けらに先生は意念を克去して本来の心に けのものにしてしまいます。それ故 推し広げれば安らかな天下国家の根 れたのです。 大事なものの真実を蔽い隠し、形だ られない弱さがあって、その意念が れを妨げる意必固我の意念から逃れ 本となるものです。だが人間にはそ 父母への孝心となって顕れ、 万人に

のです。 先生の考え方を知ることができるも 述べておられるので、論語に対する て任意に配列し、「論語」の主意を 葉から先生が随意に九章を選び出し す。論語に収められた五百余章の言 て述べられているのが「論語解」 意必固我がどういうものかについ で

要です。 「論語解」二章目の次の言葉が重

せず、 れた。勝手な心を持たず、無理押し 固毋く、我毋く」(子罕) 子、四を絶つ。意毋く、 先生(孔子)は四つのことを絶た 執着せず、我を張ることはな 必毋な、

必はその意を必ず遂げようと期す 0) はなく、自然のうちに無くされたも である。意は好悪の「私意」で、 絶つとは力を持って絶去したので

> 滞」であり、我は意必固の惑いが深 れました。 として、藤樹先生は次のように言わ を知らない「私己(の欲)」である く自分だけがあって、人のあること 期必」、 固は意必にとらわれた「執

ません。 説き続けられているのです。現代を る』と。 復って坦蕩蕩の安楽に至る。聖人の を用いて治療すれば、凡心の膿が出 から、 固我は心の癰疽(できもの)である意必固我の病となるのである。意必 生きる我々も戒めとしなければなり 己の本体を明らかにすることであ 聖人たるところはこの四つを絶って て心は活発になり、絶四の本体に を生じ、必固我と限りなく循環して なく、私意に始まって必に逃げ、固 に留まって我となる。そしてまた意 つにある。各々が煩いを為すのでは 『凡心の惑いの根本は全てこの 学んで時に習い、聖門の針薬 意念を去る脩身の重要さを 兀



お 知 5 tt

中江藤樹・心のセミナーの開催

場者数等に制限があります。今後、 みおきください。 は中止する場合があることをお含 感染拡大の状況によって延期また 開催されます。コロナ禍のため入 セミナー」が、別紙チラシの通り 令和二年度の「中江藤樹・心の

★日時 三月六日 (土) 十四時三十分~ (十三時四十五分開場)

★演題 ★場所 安曇川公民館

★講師 今、 藤樹先生の教えを どう活かすか

東洋大学名誉教授

吉田公平 先生

高島藤樹会の「ロゴ」決まる

の通り決定されました。今後、様 ていました本会の「ロゴ」が、 第二回理事会を経て、懸案となっ な機会にご活用ください。 昨年の第二回常務理事会、及び 左 々

